

ICT を活用した学校経営の提案 ～臨時休業明けも見据えた、新時代の学校教育に向けて～

佐久間 直也

○目的

- ・学校教育を時代に合わせたものにする（脱紙ベース）。
- ・生徒の汎用的な資質・能力の向上させる（専門家会議で指摘されている）。

○現在の状況

- ・YouTube アカウントの設立。

→学校としてのグーグルアカウントを所持している。

○現在の状況を踏まえて実施できること

- ・YouTube による動画配信（実施済）
- ・Google form（図1）を活用したアンケート（未実施）

→URL を知っている人のみがページにアクセスできる（学校ブログ・メールの活用で実施可能）。

リンクする際のパスワードをかけることもできる。

○なぜ Google form を提案するか。

- ・従来

→紙ベース：「配布、回収、集計」全てに時間がかかる。

- ・これから

→従来で課題となっている手間を省ける。エクセルに書き出し可能。

生徒のICT環境

- パソコン・スマホがある
- スマホがある
- パソコンがある
- パソコンもスマホもない

自宅のWi-Fi環境

- Wi-Fi環境がある
- Wi-Fi環境がないが、スマホの容量無制限のため、心配ない
- Wi-Fi環境がない

自宅の印刷環境

- プリンターがあり、ネットからデータをDLして印刷することができる。
- プリンターがあるが、ネットからデータをDLして印刷できない。
- プリンターがない。

送信

図1 Google form で作成したページ

○これから取り組めること（区教委と要相談？）

- ・学校としてG suite for education に申請する。（無料。許可出ている区あり。）
- ・生徒一人一人の Google アカウントの取得。

- ・Google classroom（図2）の活用。

- ・Google Meet（図3）の活用。

（オンライン空間での生徒とのコミュニケーションが取れる）

○Google classroom について

- ・オンライン上の学級。

→学級活動、授業など、用途に応じて作成できる。

- ・課題やアンケート、プリントなどの配布ができる。

（要、生徒の ICT 環境の調査←文科からは実施するよう要請？が出ている）

○最後に

今回、YouTube アカウントを取得したため、Google の機能で提案している。

Microsoft でも、同様のサービスが展開されている。

Google Classroom

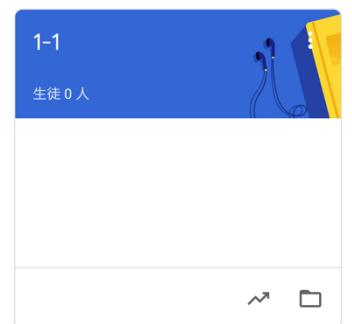


図2 Google classroom の様子



図3 Google Meet の様子